



十二所神社 (鎌倉)

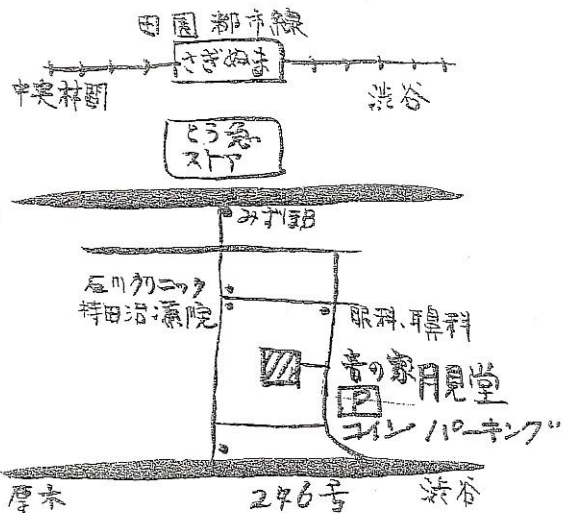
photo 真純

「それぞれの地で深く祈りなさい」 ライブ・アンソーク

2011年6月14日 (土) 午後3時～9時 参加費 1000円

- ◎ ヒフミ神歌の奉納 織茂敏夫、静子
- △ ほやほや バント
- 織茂サブ (尺八) ・ 松下真純 (タムス)
- この時代に向けて、皆さんのメッセージ

※ 中野聖寛 (遠矢院陽洞) による
10ルジャ料理 ※



月見堂 生命と音の
伝習所

〒216-0004 神奈川県川崎市宮前区
鷺沼1-9-4
Tel 044-866-0958

<http://home.j09.itscom.net/coara/tukimido>

《 福島原発事故によせて 》

大変な時代になりましたか。 いかにお過ごしでしょうか。

特に原発事故は — 原発は、私たちの世代が残り
しまったものです。

「こんな世の中にしてしまっ … 」 息子に電話して。
あやまる言葉すら見つからずに 「ワッ！」 と泣いてしまった。
「やっと好きな仕事につけたのに、こんな事は言いたくないんだけど
遠い所へ逃げて欲しい。」 と勇気を出して言った。

原発の事故があつたら — 「少しでも遠くへ逃げる。歩いてでも」 原則だ。

2日後、九州に行っていた友人に呼ばれて、息子と恋人は九州へ —
それから毎日、私達夫婦は、息子達が帰って来れるように、状況が
良くなるように祈った。

「祈る事しかできないというのは悲しい」 毎日たくさんの涙を流し
ながら —

1週間後、息子たちは、帰ってきた。 嬉しかった。

だけど終つてはいないのだ。 むしろこれからだ。

そして、見渡してみると、日本中「安全な所」はないように思えてきた。
(世界も同じか —)

原発にかえって、しっかりしなければならぬ。

原発は原爆の中身をつくる工場だ。 危険はあたりまえ、平和
利用などと平気で共存してきたのは頭がオカシくなっていると改めて
思う。

私たちが、決果許してきたのだ。 世の中つながっているんだし、私を頭
がオカシイはずだ。

(ほんとうに情けないことになりましたが — 祈る事しかできません。
自分自身の宇宙を愛で満たし、バランスを良くし、平和にした
いと思っています。(そう言えは「去年も同じ事をしたのでした。」)
皆さんの知恵を寄せて下さい。こんな時だからこそワクワク
した人生がつくっていきける♡

希望 元年 4月30日

静子